

## カーストとジェンダーの正義を求める

### 国連人権理事会第41会期におけるIMADRサイドイベント

ダリットの人権擁護者と国連人権専門家、カーストとジェンダーの複合差別の問題に声をあげる



2019年6月25日、IMADR、IDSN（国際ダリット連帯ネットワーク）およびその他の人権団体は、国連人権理事会第41会期の会場で、ダリット女性とジェンダーの複合差別に関するサイドイベントを開きました。発言者は女性に対する暴力に関する国連特別報告者であるドゥブラヴカ・シモノビッチさん、ネパールのフェミニスト・ダリット協会（FEDO）事務局長のレニュ・シジャパティさん、そしてインドのダリット人権全国キャンペーン（NCDHR）のエビラミ・ジョシースワランさんでした。進行役はインドのNGOピープルズ・ウォッチのヘンリ・ティパーンさんが務めました。

#### ドゥブラヴカ・シモノビッチ

シモノビッチさんは、各国政府には女性に対する暴力を防止し、問題に取り組む責任があるが、それが十分果たされていない場合があるとし、2018年10月に公式訪問をしたネパールについてこう言及しました。「ネパール憲法には女性に対する暴力についてよいことが書かれていますが、その実施には大きな隔たりがあります。憲法が具体化されることに注視し、私の職務と専門性をもってどのように問題解決にあたることができるか考えます。カースト差別とジェンダー差別と闘っている人たちには、利用できる国連のメカニズムはすべて使い、具体的な事例を通報するよう奨励します」と述べ、「ネパール訪問報告書に含まれる勧告を、政府、NGO、人権機関、さらにはネパールにある国連出先機関が実施するよう求めます」と括りました。



左から：ヘンリさん、シモノビッチさん、レニュさん

## レニユ・シジャパティ

FEDO 事務局長のシジャパティさんは、ダリット女性に対する差別や抑圧は日常生活のなかでさまざまな形をとって表われるとしたうえで、人身取引、性暴力、レイプ、拷問などの被害者の多くがダリット女性であると述べました。ネパールではレイプ被害者の 20%はダリット女性であり、被害者の 80%がレイプされた後に殺されています。さらに、被害者が裁判に訴えたり、政府に対応を求めることはほとんどありません。これはダリット女性に対する複合差別の端的な例であるとして、シジャパティさんはさらなる行動の必要性を強調しました。もう一つの問題として、ダリット女性に対する差別や暴力は、ダリットコミュニティに根強く残っていることを指摘しました。それらから逃れるために自分の町を出る女性たちが少なからずいるが、都市に逃れてもスキルや経験がないため、仕事に就く機会に恵まれず、女性たちの苦闘は続くとして述べました。



エビラミさん

## エビラミ・ジョシースワラン

NCDHR のジョシースワランさんは、FEDO のシジャパティさんの発言に頷き、インドのダリット女性も同じ状況にあると述べました。インドではカーストに基づく差別を禁止する法律や規制がいくつもあるものの、その実施には大きな問題があります。この溝を埋めるには、カーストとジェンダーの問題を十分理解した弁護士を見つける必要があるとシジャパティさんは力説しました。ネパールと同じように、インドでもレイプ被害者の 25%はダリット女性であり、その比率はさらに高くなっています。インドのダリットコミュニティはこの暴力の問題についても、これまでの 20 年間、国連を含む国際的な場で訴えてきました。「カースト差別をなくすのは、ダリットだけの責任ではありません。世界中の人びとの責任です。ダリットの権利は人権です」、とジョシースワランさんは訴えました。

3 人の発言に続き、フロアより意見が出ました。国連ネパールミッションの第二秘書官は、ネパールは現在法制度の全面的な見直しを行っており、ダリット女性団体からの意見は歓迎されると言いました。そして、昨年ネパール公式訪問によるシモノビッチ特別報告者の勧告をうけ、ネパール政府はカーストとジェンダーに基づく差別をなくすために国連機関も使いながら努力をしていると述べました。

インド NCDHR 事務局長のビーナ・パリカルさんは、マニュアルスカベンジャー（手作業による糞尿処理の仕事）のほとんどはダリット女性であり、差別の矢面にさらされていると言いました。さらに、留保制度（差別是正措置）によるダリットの公務員職は自治体レベルに集中しており、州や国レベルではないと述べました。ダリット女性が力をつけるために、女性たちの土地所有や財産所有を高める努力と、すべてのレベルでの意思決定にダリット女性の参加を保障する必要性があると訴えました。

気候変動に関して活動するダリット権利擁護者のリトワジ・ダスさんは、ダリット女性主導の再生農業を推し進め、女性たちをエンパワメントするために種子を貸し付けているデカン開発協会の活動を紹介しました。この活動は 2019 年国連赤道賞を受賞しました。彼は、ダリット女性は SDGs の精神のもと、変革の主体であると述べました。



サイドイベントは次の国際人権 NGO の協力をえて開催されました。

**Minority Rights Group International**

**Human Rights Watch**

**Anti-Slavery International**

**Lutheran World Federation**

**CIVICUS: World Alliance for Citizen Participation**

**Franciscans International.**

写真・情報提供：IDSN